

体温センサ(耳栓型)

【禁忌・禁止】

1. 本電極は未滅菌品のため生体の皮膚表面以外での使用
2. 高圧酸素治療装置内での使用
3. 可燃性麻酔ガスあるいは高濃度酸素の雰囲気内での使用
4. 磁気共鳴画像診断装置（MR I）との併用
5. 皮膚疾患や創傷のある部位における使用

【形状、構造及び原理等】

1. 概要

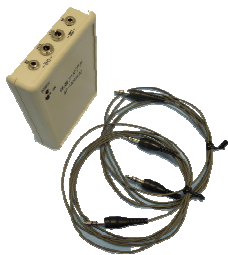
本体温センサ（耳栓型）は、当社製の体温アダプタを介して、携帯型多用途生体アンプ ポリメイト AP1000 シリーズ又はポリメイト II と接続し、被検者の外耳道へサーミスタ付きのイヤプラグ（耳栓）を挿入し、体温を測定するセンサです。

2. 外観写真

2-1 体温センサ（耳栓型）

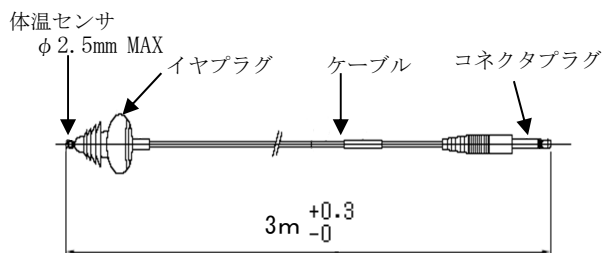


＊ 2-2 体温アダプタ



3. 形状及び寸法

3-1 体温センサ（耳栓型）



＊ 3-2 体温アダプタ（オプション品）

① 体温アダプタ

寸法：W61×D97×H26mm±10%

② 出力ケーブル

ケーブル長：1.5m±20% 2本

4. 作動原理

本製品は、サーミスタの抵抗値が温度によって変化することを利用し、サーミスタ付きのイヤプラグ（耳栓）を外耳道へ挿入することにより体温を電気信号として検出します。

＊ 5. 品番

No.	品 名	品 番
1	体温センサ（耳栓型）	AP-C052
2	体温アダプタ	AP-U019(A)

【使用目的又は効果】

<使用目的>

本体温センサは、サーミスタ付きのイヤプラグ（耳栓）を被検者の外耳道に挿入して体温を測定するためのものです。

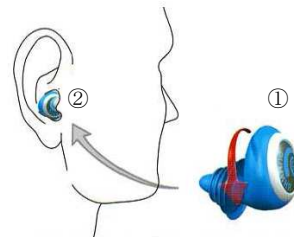
【使用方法等】

使用する前に必ず使用上の注意を読んでください。

本製品は、未滅菌品です。

1. 本製品は携帯型多用途生体アンプ ポリメイト AP1000 シリーズ又はポリメイト II 等の適正な計測機器に接続し使用する体温センサです。体温センサ出力のコネクタプラグを体温アダプタの所定の入力部に差し込みます。
2. イヤプラグ（耳栓）を外耳に挿入・固定する際は、図のように①イヤプラグを持って、②耳穴へ半分程度挿入してから、反時計方向（左回り）に90° ほど回しながら装着してください。

<使い方、装着図>



<装着例>



良い

悪い

3. 再使用する際には体温センサ部先端を消毒、殺菌して使用してください。

【使用上の注意】

1. 取り扱いの注意

- ・使用前に本品を点検し、異常が見つかったときは使用しないで新しい体温センサを使用すること。
- ・本製品の使用体温範囲を遵守してください。
- ・体温センサ部先端に物理的圧力を加えないでください。
- ・コネクタは、装置の指定された入力端子にしっかりと接続してください。
- ・装置からコネクタを外す時は、コネクタ部を持って静かに引き抜き、リード線を強く引っ張らないでください。
- ・コネクタの根本部分を折り曲げないよう注意してください。

2. 使用後の清掃

- ・消毒や殺菌は、約 70%のイソプロピルアルコールまたはエチルアルコールを含ませた柔らかい布で清掃します。塩素、ケトン、エーテルまたはエステル溶剤による洗浄や消毒をしないでください。

取扱説明書を必ずご参照下さい

- ・長時間アルコール、有機溶剤、洗剤またはアルカリ溶剤に浸さないでください。ケーブルの被膜が破損します。
- ・コネクタに水が掛からないように注意してください。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

1. 50℃以下の温度で室内保存してください。
2. 水分、気圧、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などの影響を受けるおそれのない暗部な場所に保存してください。
3. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保存しないでください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名称：株式会社ミユキ技研

TEL：03-3818-8631 FAX：03-3818-8632

製造業者：株式会社ミユキ技研